

令和4年度 第1次連隊練成訓練



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株) 電子印刷センター



給油所開設



有線構成



砲迫戦闘



対空戦闘



無線通信



攻撃戦闘

補給小隊は連隊の補給・整備、その他の支援等を担う部隊の活動区域である通称「一段列」を計画性を持って迅速に開設し、後方支援業務を開始した。同日夕刻、第2中隊は攻撃命令を下达し、夜間攻撃を行った。夜間攻撃は隣接隊員との連携も難しく暗視装置を活用した戦闘となるが、各隊員への命令の徹底、事前の綿密な調整を行い、強靱な体力と気力を持って目標地域の奪取に成功した。21日明朝、絶えることなく攻撃前進を続け本訓練検閲は終了した。講評において統裁官である中村英昭1等陸佐は「夜間の攻撃という不利な状況だからこそ夜間を制すれば戦闘を制することが出来る。まだまだ伸びしろはたくさんあるので、引き続き練度向上を図ってもらいたい」と述べた。今後も部隊は日々練成に励んでゆく。

令和4年度 第1次連隊練成訓練 2中隊・通信小隊・補給小隊

連隊は、令和4年9月19日から21日までの間、長崎県に位置する大野原演習場において第2中隊・通信小隊・補給小隊の訓練検閲を実施した。台風14号通過後の強風残る中19日正午、行進命令が下達され、同日夕刻から計画に基づき各部隊は、約40km徒歩行進を行った。20日、行進後、各部隊は速やかに集結地地域を占領して次の戦闘準備へと移行した。この間、第2中隊は敵陣地解明の為、偵察を行った。昼間ということもあり、偵察行動に制限があったものの、夜間攻撃に備え、情報の獲得に努めた。通信小隊は連隊内の情報伝達の要である有線構成や事務所・無線所の開設を行った。特に有線構成は電話器へと続く有線を敵に見えないように草木の中へ隠し、時には硬い岩盤をつるはしで砕き土の中へ埋設し、秘匿に心がけていた。

新隊員特技課程教育

連隊は7月1日(金)から9月15日(木)までの間、新隊員67名に対して新隊員特技課程教育を行った。新隊員特技課程は普通科部隊の火器である機関銃や対戦車火器、迫撃砲などの専門的な知識・技能を学び、また強靱な近接戦闘を繰り広げる為の気力や様々な訓練に耐えうる体力を養い昼夜問わず訓練に励んできた。機関銃射撃訓練では弾薬が連続発射される際の衝撃力に驚きつつも堅固な姿勢を保持し、標的へと狙いを定め射撃を行った。また、迫撃砲の操作訓練では限られた時間の中を焦燥感に駆られながらも照準に集中し精密な操作を行う等様々な訓練を通して同期との絆を深めつつ日々成長してきた。



砲操作訓練



5.56mm機関銃MINIMI射撃



区隊旗授与



決意の言葉

修了式では、新隊員を代表して、堤拓海2等陸士が「私達67名は様々な苦難を乗り越え、成長することが出来ました。まだまだ未熟ですが、中隊で貢献できるよう日々精進して参ります。」と決意の言葉を述べた。執行官である中村英昭1等陸佐が「それぞれの部隊及び中隊に配置された新たな第一歩を踏み出すこととなるが、本課程をやり遂げた自信をもって胸を張り部隊及び中隊に行ってもらいたい。」と式辞を述べた。大半の新隊員はこの第41普通科連隊の各中隊へ配属となるが数名の隊員は各駐屯地へ配属となる。若き自衛官の輝かしい活躍に期待をする。

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

師団迫撃砲競技会

9月28日から29日までの間、日出生台演習場において師団迫撃砲競技会が行われた。

迫撃砲とは山などでさえぎられている見えない陣地から、狙った目標に対し上空を弧を描くように射撃を行う兵器である。今回連隊の重迫撃砲中隊と今年度6月下旬に行われた連隊射撃競技会で優勝を勝ち取った第2中隊が代表として参加した。決められた時間の中で射撃を行うため、砲手は迅速かつ精密な照準にすべての神経を費やし狙いを定め、弾薬手は弾薬の点検を正確かつ迅速に行い副砲手は弾薬を装填し、分隊長の「うっ」の号令のもと轟音が鳴り響き弾薬が発射される。その一発一発に分隊一丸となり射撃を遂行し、任務を完遂した。

結果は重迫撃砲中隊は第3位、第2中隊は見事優勝を勝ち取る事が出来た。



120M迫撃砲



81M迫撃砲

鶴見岳・伽藍岳噴火に伴う駐屯地避難訓練

駐屯地は、9月1日(木)に鶴見岳・伽藍岳噴火に伴う駐屯地避難訓練を実施した。本訓練は今年7月8日に伽藍岳の噴火警戒レベル2に引き上げられたことにより、避難要領・装備品等の搬送の検討を目的として実施した。

駐屯地内の一斉放送により訓練は開始され、各隊員は必要な荷物・装備品を運搬し車両位置へ駆けつけ、避難に遅れた隊員が無いように各部隊は確実に人員を掌握していた。部隊の避難態勢が完了し、駐屯地司令中村英昭1等陸佐による避難準備の点検を実施した。訓練間は終始雨の中であったが、災害は気象を選ばず訪れる。本訓練における改善点を洗い出し、部隊避難後に待ち受ける災害対処が直ちに出来るよう、隊員個人及び部隊としての物心両面の準備の重要性を再認識した。



資材搬入



人員集計をする隊員

オリエンント・シールド22

連隊は8月14日から9月9日までの間、オリエンント・シールド22に参加した。オリエンント・シールドとは国内で実施されており、陸上自衛隊と米陸軍が各指揮系統に従って共同作戦を行い、対処能力の向上を目的としている。

連隊からは近年導入したドローンを用いて映像伝送班として参加し、上空からの映像を上級部隊に提供し、資料の作成に貢献していた。



ドローンによる撮影



福原万里子3等陸曹(中央)

また、今回の訓練に参加をしていた福原万里子3等陸曹は連隊の衛生科隊員として勤務をしているが部隊の通訳者としても活躍している。福原3曹は「軍用語を用いての通訳は難しいが、確実に通訳者としての技術が上がってきている。訓練を通して経験を積んでいきたい」と述べた。今後も様々な分野で活躍する隊員を引き続き紹介してゆく。

国際派遣隊員見送り

8月1日(月)、連隊は高瀬貴也3等陸曹の国際派遣の見送りを行った。高瀬3曹の派遣任務はUNTPPにおける通訳業務であり、訓練場の責任者との調整の通訳を担っている。UNTPPとは国際三角パートナーシッププログラム、頭文字をとったものであり国連、支援国、要員派遣国の3者が協力して国連PKO要員の能力向上、必要な装備品の提供を行う協力枠組みであり、今回はインドネシア国軍に対し、自衛隊で取り扱っている重機等の施設器材の教育を行い、インフラ整備や宿营地等の設営能力の修得を目的としている。

高瀬3曹は「自分の通訳力が教育の円滑さを左右する事を深く認識し、通訳者としての言葉のニュアンスをしっかりと掴み伝えていきたい」と決意を述べた。連隊は今後の活躍に期待する。



連隊見送り



高瀬貴也3等陸曹

離着任部隊長紹介

Table with columns for '離任者' (Departing) and '着任者' (Arriving) for various units. Includes photos and names of officers such as 後藤良一 (2等陸佐), 北平榮三 (2等陸佐), 榎原健三 (1等陸尉), 八木義彰 (1等陸尉), 荒巻栄一郎 (2等陸尉), and 川添佑樹 (3等陸尉).

令和4年度前期定期異動者紹介

Large table listing personnel movements for the first half of FY2022. Columns include '転出者' (Transfers Out) and '転入者' (Transfers In) for various units like 第1中隊, 第2中隊, 第3中隊, 第4中隊, 重迫撃砲中隊, and 本部管理中隊. Lists names and ranks of personnel.

Bottom section showing training activities for different units: 重迫撃砲中隊 (武道訓練), 第4中隊 (強行進), 第3中隊 (武器格闘), 第2中隊 (観測訓練), 第1中隊 (MG射撃), 本部管理中隊 (有線構成). Includes photos and labels for each activity.

別府駐屯地業務隊 総務科

北平業務隊長着任

令和4年8月1日付をもって、第34代別府駐屯地業務隊長に、北平栄二二等陸佐が着任した。北平2佐は着任式において「凡事徹底」、「創意工夫」の2点を要望するとともに、状況報告隊内巡視により、現状を把握した。業務隊各隊員は、隊長の要望事項を胸に隊員一丸となって業務に邁進するとともに、駐屯各部隊のニーズに柔軟に対応し、積極的な業務支援ができるよう努めていく。

業務隊は、北平2佐を核心として、各科が心機一転、新たな気持ちで業務に取り組み、平時・有事の区別なく、作戦部隊のための業務隊として新体制をスタートさせた。

主要補職

平成15年3月
第8特科連隊第5大隊 第9中隊長
平成25年8月
西部方面総監部人事部 人事幹部・企画幹部
平成30年8月
第113教育大隊 大隊長
令和2年8月
西部方面総監部人事部 募集課募集班長

出身地 熊本県
職種 野戦特科
学歴 防衛大学校(精密)40期



着任式



記念撮影



状況報告

第404会計隊

新隊員を迎えて

令和4年9月5日付で二等陸士江口亮太(佐賀県佐賀市出身)が出納係へ、二等陸士井上貴恵(福岡県福岡市出身)が旅費係へ配置になりました。

西部方面会計隊本部(健軍)での新隊員後期教育を修了し、現在先輩からの親身な指導を受けながら、それぞれの係として頑張っています。



江口2士



井上2士

会計支援任務完遂のため、一日も早く会計隊の雰囲気慣れ、戦力となるよう隊員一同愛情をもって指導を行い、成長を見届けたいと思います。

※出納係は、業者や隊員への支払いに関する業務を実施します。

※旅費係は、赴任、入校等で発生する旅費を支払うために各中隊等の旅費担当隊員との調整及び支払書類の作成に関する業務を実施します。

第3普通科直接支援中隊

令和4年度大隊銃剣道競技会

第3普通科直接支援中隊は、9月1日に空自春日基地で第2整備大隊が実施した銃剣道競技会に参加しました。今回、16名が選手として参加し、6個チームのリーグ戦形式で行われました。団体戦においては、選手一丸となって試合に挑み5位という結果を収めました。一昨年前は最下位だったため、一歩前進することができました。また、個人戦においては各隊員が練成の成果を発揮して、陸士(女子)の部で是澤士長が準優勝という結果を収めました。

中隊長を核心に、短い練成期間ではありましたが、前年以上の成績を収めることができ、本競技会の参加により中隊の戦技能力の向上を図るとともに団結が一層深まりました。今後も支援業務はもちろんの事、戦技能力の向上に努めてまいります。



団体戦に出場した中隊長(左)



個人戦に出場した本田3曹(左)

大分地方協力本部 大分地域援護センター

三自衛隊(陸・海・空)合同広報

大分地域援護センターは8月25・26日両日、企業主等を部隊に招聘して自衛隊に対する認識を深めて頂き、就職援護基盤の拡充を図ることを目的とする三自衛隊合同広報に参加し、陸自相浦駐屯地及び海自佐世保基地において大分県から「グイック工業」様を招聘し、2日間に渡り自衛隊の各種訓練等を見学、各種説明を受け自衛官という職業に理解を深めて頂きました。

また8月30日、福岡国際会議場で実施された「福岡県任期制隊員合同企業説明会」に参加し、会場内の各種準備状況及び説明会運営要領を研修し、来る10月11日に大分市で実施予定の「大分県任期制隊員合同企業説明会」実施の資としました。大分地域援護センターは引き続き退職を予定される任期満了隊員、若年定年退職隊員の就職援護について親身に支援して参る所存ですのでご協力をお願い致します。



自衛隊車両見学



各企業への説明

第134地区警務隊 別府派遣隊

警務隊の活動状況

警務隊は、令和4年7月27日から8月5日の間、休暇前の夏季防犯活動を実施した。この際、重視事項を性的犯罪の防止として防犯資料の配布、防犯助言及び駐屯地放送を利用して防犯活動を実施した。

また、7月は臨時防犯活動として参議院選挙に伴う臨時防犯を行い、駐屯地隊員に対して公的地位を利用した選挙違反防止とSNS利用による選挙違反の防止について、防犯資料を配布するとともに、防犯助言を併せて実施して、駐屯地隊員から選挙違反者の発生防止に寄与した。



夏季防犯資料提供状況



夏季防犯部内放送状況

第304基地通信中隊 別府派遣隊

令和4年度第1回西部方面システム通信群演習

西部方面システム通信群は令和4年8月28日(日)から31日(水)までの間、第1回西部方面システム通信群演習を実施した。

派遣隊においても、現基地システム通信組織を維持運営しつつ訓練に参加し、これまでの練成訓練の成果を発揮し多くの訓練状況を迅速・適確に対処することができました。

本訓練において、派遣隊は少数での通信所防護、主要器材の障害対処という難しさを痛感しましたが、今後更なる基地効率化による大分通信所の集約化が進むためいかなる状況下においても、指揮・統制の命脈であるシステム通信を途絶することがないよう日頃から練成に励み、強固な派遣隊へと精進してまいります。



駐屯地司令への訓練説明



大分分屯地交換機障害対処

駐屯地司令への訓練説明

大分分屯地交換機障害対処

定年退官者紹介

永年にわたる勤務
おつかれさまでした

【7月5日付】	第41普通科連隊 重迫撃砲中隊 1等陸曹 小林 公彦
【7月22日付】	第41普通科連隊 第2中隊 3等陸尉 田林 克規
【8月9日付】	第41普通科連隊 第2中隊 陸曹長 栗屋 洋二
【8月29日付】	第4後方支援隊第3普通科直接支援中隊 陸曹長 小川 守人
【9月6日付】	第41普通科連隊 第2中隊 准陸尉 片淵 直



別府駐屯地 管理栄養士 益永和美

別府駐屯地で栄養管理士を務めている益永と申します。レシピ紹介7回目は「豚肉山賊焼炒め」を紹介致します。本当は鶏肉の料理ですが、夏バテ予防の為にビタミンB1の豊富な豚肉でアレンジしました。



材料(4人前)

食品名	分量g(調理指示)
●豚ももスライス	400g(3×3センチにカット)
●玉葱	200g(角切り)
●キャベツ	240g(3×3センチにカット)
●ピーマン	60g(角切り)
●塩	2g
●こしょう	0.4g
●山賊焼のたれ	80g

- 1 フライパンにサラダ油を温め、豚肉を炒めて塩、こしょうをふる。
- 2 玉葱、キャベツ、ピーマンを入れて炒め、山賊焼のたれで味付けをする。

コツ

野菜のぱりぱり感が残るようなタイミングでたれをからめると食感が良く、美味しく仕上がります

豚肉山賊焼炒め



別府駐屯地隊員食堂 おすすめレシピ紹介。7回目は、「豚肉山賊焼炒め」のレシピを紹介致します。野菜もたくさん、もりもりご飯がすすみますよ!



Vol.7

別府駐屯地隊員食堂 おすすめレシピ紹介

別府駐屯地隊員食堂



別府駐屯地 Twitter

更新中!!

陸上自衛隊別府駐屯地(公式)フォロー

